

# 市政モニター アンケート結果 概要

## 「市政改革の推進について」

# も く じ

## I 調査の概要

|   |         |   |
|---|---------|---|
| 1 | 調査の実施状況 | 1 |
| 2 | 回答者の属性  | 1 |

## II 調査結果の分析

|   |                          |   |
|---|--------------------------|---|
| 1 | これまでの市政改革の取組について         | 1 |
| 2 | これからの市政改革の取組について         | 2 |
| 3 | 地域活動の現状について              | 2 |
| 4 | 地域運営の仕組みについて             | 3 |
| 5 | 区役所・市役所力の強化について          | 3 |
| 6 | 持続可能な大阪市を支える行財政基盤の構築について | 3 |
| 7 | あなたを取り巻く生活環境への影響について     | 4 |

## I 調査の概要

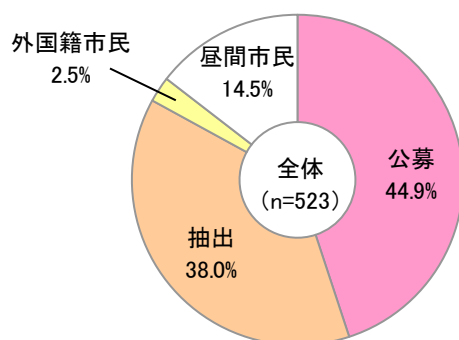
### 1 調査の実施状況

市政モニター600人に対し、平成23年7月19日に質問書を送付し、提出期限を7月27日として回答を求めたところ、523人から回答があった。

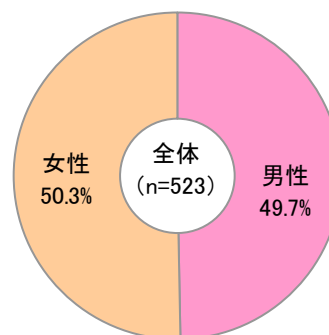
回答率は87.2%

### 2 回答者の属性

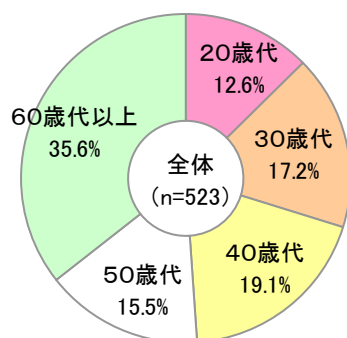
#### 市政モニターの種別



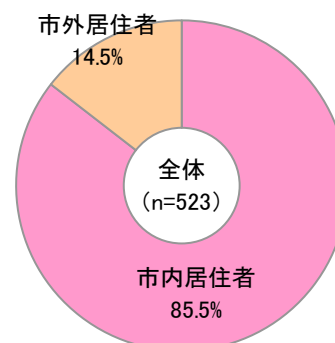
#### 性別



#### 年代



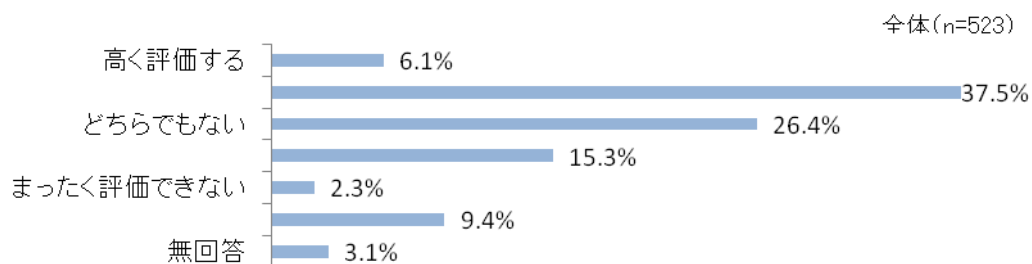
#### 居住地（市内・市外）別



## II 調査結果の概要

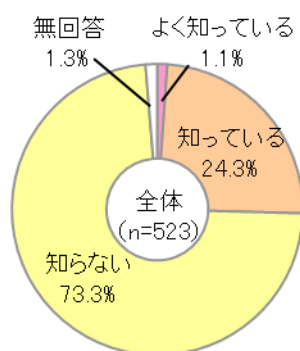
### 1 これまでの市政改革の取組について

#### ① これまでの市政改革の取組への評価



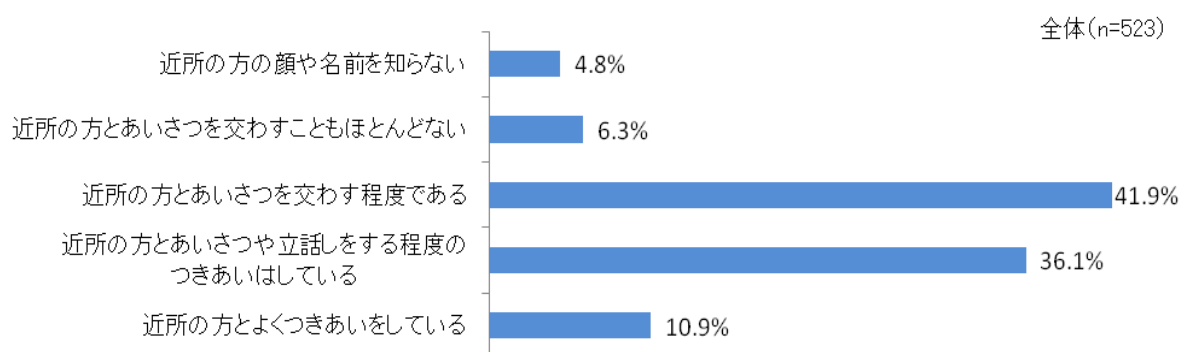
## 2 これからの市政改革の取組について

### ② 新たな市政改革基本方針の認知度

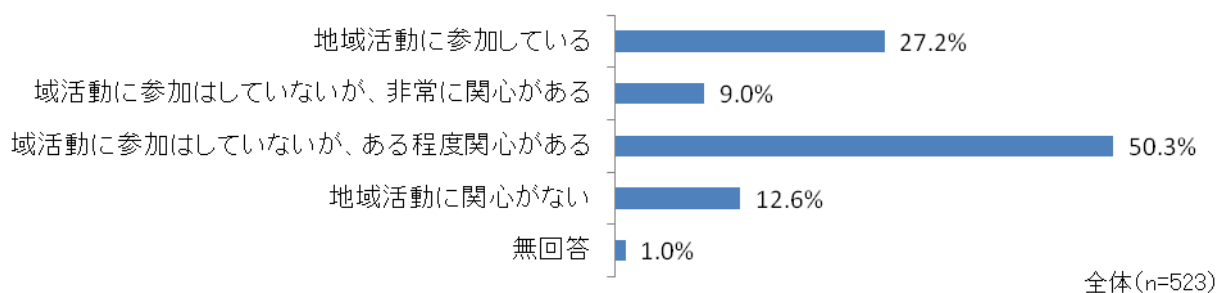


## 3 地域活動の現状について

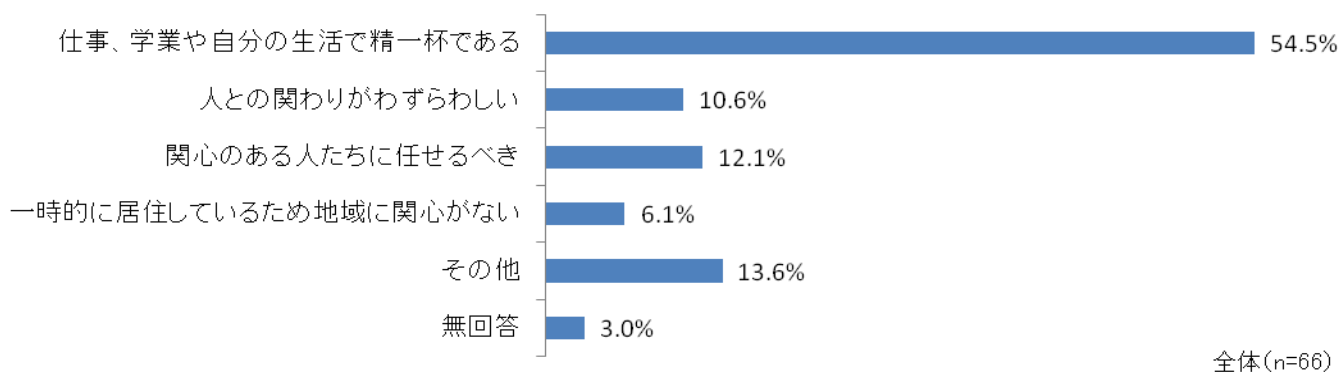
### ③ 近所づきあいの状況



### ④ 地域活動への参加状況

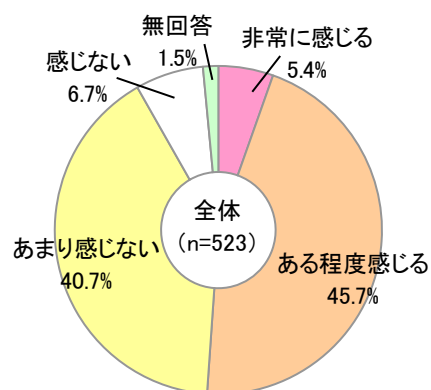


### ⑤ 地域活動に関心のない理由

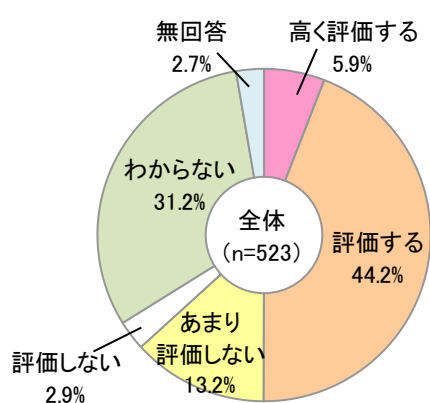


#### 4 地域運営の仕組みについて

##### ⑥ 地域運営への市民参画の認識

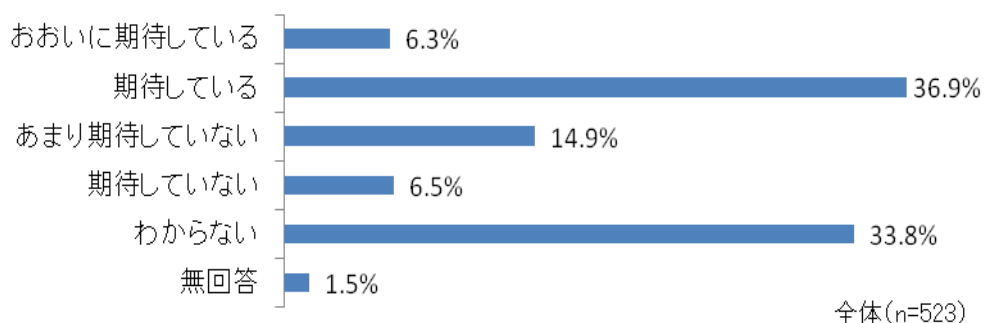


##### ⑦ 地域運営のあり方への評価



#### 5 区役所・市役所力の強化について

##### ⑧ 区政会議への期待

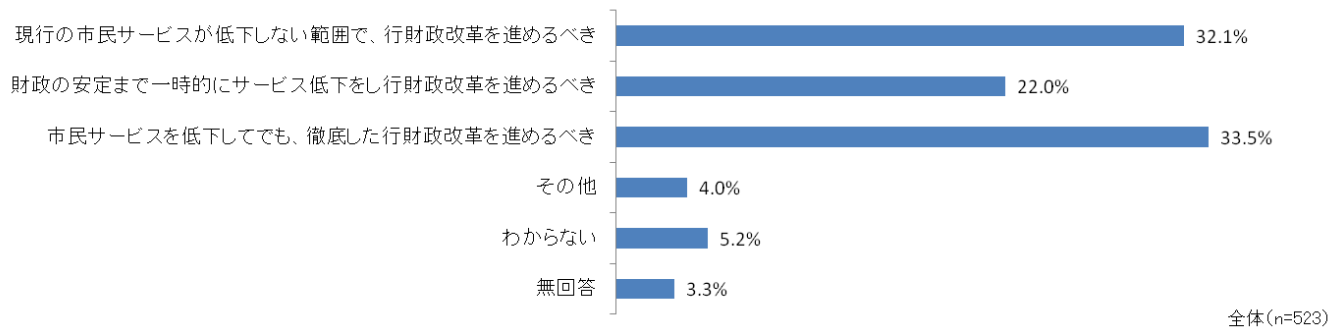


#### 6 持続可能な大阪市を支える行財政基盤の構築について

##### ⑨ 大阪市の財政状況に関する意識

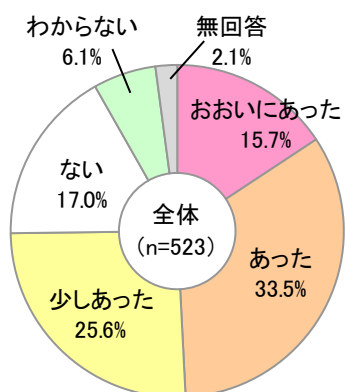


## ⑩ 行財政改革と市民サービスの関係



## 7 あなたを取り巻く生活環境への影響について

### ⑪ 東日本大震災の市民生活への影響



## ⑫ 東日本大震災の市民生活への影響

### 設問 7-2

(東日本大震災の発生にともなって、あなたや周囲の人の意識・行動・生活に変化はありましたか。) 具体的にどのような影響や変化があったかを教えてください。

意見数 延べ 377 件

#### 主な意見

#### ●防災意識の高まりや非常時への取組を行った 143 件

- ・自分とは無関係だと思っていた大災害について、可能性の大小はあれ、身近に起こる可能性があるという認識を持つ様になった
- ・災害はいつどこで起こるか分からないものなので明日は我が身と考えて防犯グッズをそろえたり避難場所の確認をしたりしました。家族がいて普通に生活のできる有難さと同時にそれを失った時の事を考えた時の不安を感じました
- ・震災などが発生した時、どのように行動するかなど家族で話し合い自分たちの住んでいる地域について関心が出てきた。カバンに必要な物を備えた
- ・地域の広域避難場所に対する再チェック、特に津波に対する避難経路、場所、方法について真剣に考えるようになった

#### ●節電や環境問題などへの関心や取組が増えた 97 件

- ・常に節電を意識するようになった
- ・原子力発電に依存しすぎていた事に対して、強い危機感を持ちました。特に、節電を気にするようになりました
- ・快適な生活ばかりを求めていくと環境や自然に負担をかけていることがわかり、節電など意識するようになった

#### ●復興支援などのボランティア活動を行った 25 件

- ・節電はもちろんのことムダをかなり減らしている。ホームステイの受け入れも申し込みをし、その事情を子どもが理解し賛成してくれていた
- ・町内会震災の義援金を集めた時、皆各自気持ちよく義援金に協力して下さった。又、ある団体を通じて家で眠っているきれいな物を提供した。未使用の食器、台所用品、衣装等そして節約する心が生まれた
- ・義援金や震災された方への物資送付などがあつた。また個人的な人道的支援やボランティア活動などの参加をしたいという意識があつた

#### ●地域（近隣住民）との付き合いや助け合いが重要となった 23 件

- ・近所の人々との付き合い、絆の大切さ
- ・町内会での連携が強化された
- ・人間は地域を無視しては生活は出来ない
- ・災害があつた場合の避難場所など想定するようになった。近所づきあいは本当に大切だなと実感しました

### ●経済活動が悪化したこと 21 件

- ・ 仕事の減少、生活の変化
- ・ 仕事量が減り、収入が減った。街の人の流れが減った。(店の客数が減り活気が低下しているよう！)

### ●人とのつながりやきずなについて考えることになった 14 件

- ・ 人と人の絆。(思いやり)。物を大切にする心
- ・ 人間の絆が大切であること。信頼する事、される事が基本であること
- ・ 困った時はお互いに助け合うべきだと考え、行動するようになった

### ●生き方を見つめ直すきっかけとなった 9 件

- ・ 戦後世代の生き方を見直すべきほどの影響があったと思います
- ・ 生活様式が昭和 40 年代に少しは戻った
- ・ 考え方が少し変わった。普通にあるものを普通ではなく感謝できるようになった

### ●自分で守ることの必要性を感じた 5 件

- ・ 自分で守る！行政に頼らずに
- ・ 先ずは自分・家族等による自意を持つようになった（自己責任を持つことが第一）

### ●行政の対応について考えるきっかけとなった 4 件

- ・ 日本の行政、地域の行政はほとんど過去から学んでいないという実情を見せ付けられた
- ・ 東海・南海地震の発生に対応できるのかどうか。港湾・河川等が津波にどこまで耐え得るのか等不安が大きい。想定外でしたを繰り返さないように準備が必要
- ・ 行政への信頼が大いにわからなくなったという意見が多い
- ・ 復旧復興支援のため、今年は 3 回東北へ行きます。東北と関西が大変近くに感じられるようになりました。大阪の防災対策もきちんと見直していきたい

### ●食の安全について考えるきっかけになった 3 件

- ・ 食に関しての安全性についての話が増えてきた
- ・ 「食」に関しての注意力が増した

### ●その他 33 件

- ・ 津波の恐ろしさを目の当たりにし、近く来るであろう東南海地震が来たらと思うと、ものすごい恐怖を感じ、「とにかく高いところへ避難する」と言われてたけど、高所の非難指定場所がどこにあるのかもわからないので不安ばかりだ
- ・ 地域防災フォーラムが開催され、中学生が多数参加してくれた
- ・ 電池や水・食品など、まとめ買いした人がたくさんいた事に驚いたし、個人の意識よりテレビなどで影響を受けていた様に思う